

第2回リニア発生土置き場計画審議会 議事の振り返り

御嵩町 12/17

日 時：令和5年12月3日（日）14：30～16：50

会 場：御嵩町役場北庁舎3階大会議室

出 席：12名（欠席2名：杉本委員、大畑委員）

○ JR東海からの説明、質疑応答について

○第1回審議会で求められた事項についてJR東海から説明

- ・工事施工ヤード整備に伴う発生土の候補地A搬入に関する経緯
- ・候補地Aの用地取得状況
- ・次月地区で行われたボーリング、ウラン分析した場所の詳細

○主な委員意見

- ・フォーラムを行っている途中で土地の買収をされていた。止めることはできないけれども協議に関する姿勢がどうか、プレッシャーになってしまうと感じている。（鈴木委員）
- ・リニア本線のルート上からボーリング位置が少し外れているが、ルート上ではできないのか。（小栗委員）

○ 町からの説明、質疑応答について

○審議にあたっての前提条件、JR東海の申し出の背景等について町長から説明

- ・御嵩町が発生土置き場計画に関わってきた経緯
- ・候補地A（民有地）におけるJR東海の自社用地取得状況
- ・これまでの経緯や用地の取得状況から、協議交渉には計画の全否定だけでなく、代替案や変更、改善を求めるといった具体的な提案が必要になると思われるため、多様な選択肢ある中で、審議・合意形成されることを期待したい。

○主な委員意見

- ・まずは御嵩町から発生土を受け入れる最大リスクを説明するべきでないか。リスクの説明も無いのに代替案は示せない。（佐賀委員）
- ・審議会の目的や目指す姿の説明が委員就任時になく共有されていない。（竈橋委員）
- ・御嵩町の将来からみて望ましい方法や方向はどうか、といったまちづくりや防災等の視点から言ってみても良いのではないか。（瀬瀬委員）
- ・感情的な判断で全否定するというだけでなく、合理的な理由を添えてきちんとJR東海と協議できる体制を整えるためという理解で、忌憚のない意見を出し合える場としたい。（富田委員）
- ・審議会としては予定どおり様々な懸念を出し合い答申するべきである。代替案や具体策、JR東海との交渉など実務的なところは、町長がやっていくということで良いのではないか。（岡本委員）
- ・候補地は過去に町がゴルフ場跡地の活用のため平場造成を要請した土地だということで、JR東海が買収を進めた経緯もあるように思える。審議会は現状で何ができるのか、今できることを協議する場にすべきではないか。（田中委員）

- ・町長の意向は分かったとして、審議会では今の計画について自由に議論するというところでスタートを切れば良いと思う。(鈴木委員)

○ 審議すべき項目について

○ 審議する項目

- ・大きく3つの項目『「(健康面での) 要対策土の安全性」、「(防災面での) 盛土の安全性」、「重要湿地・環境保全』と「その他」に整理。

○ 主な委員意見

- ・町環境基本条例や町希少野生生物保護条例などとの兼ね合いや、町の将来像も踏まえて提言しないと駄目だと思う。(岡本委員)
- ・時間があるなら、行政プロセスの健全性、透明性についても検討したい。(佐賀委員)
- ・候補地は重要湿地に指定され、希少種も多く見つかっているのだから、ここに発生土を置かないでほしい。町内や近隣市町村にもっと適切な場所がないか、探すこともできるのではないかと。(小栗委員)
- ・先の情報によると、過去に県からJR東海へ紹介した候補地となり得る場所は62ヶ所あった。それらの場所で受入れ可能などところがないか確認すべき。(小栗、鈴木委員)
- ・重要湿地の範囲は法令上定まったものではない。いろんな考え方があって良いと思っており、重要湿地の中でも重要度を重みづけして考える、私の意見ではないがそういった考え方もできると思う。(富田委員)
- ・発生土を受け入れることで、盛土された土地が有効活用できるようになるメリットがあるか、また、他市町の受入れ状況の動きはどうかといった議論に触れたい。(鈴木委員)
- ・発生土の受入可否に関わらず、JR東海所有地も町有地も含め、今後どのように利用・活用していくのか、そこも視野に入れて議論できると良い。(富田委員)
- ・すべて持ち出すというのは難しいとの思いがある中、例えば候補地Bだけでも残すなど、少しでも多くの湿地を守る方に力を注いだ方が良いのではと思う。様々な意見を出し合って解決策を導いてはどうか。(田中委員)

○ 委員の追加委嘱について

- ・杉本委員の体調不要を受けて武田委員を15人目の委員とすることを承諾

○ 次回審議会のテーマについて

- ・(健康面での) 要対策土の安全性について議論する。
- ・要対策土に対する各委員の意見、提案を事前に取りまとめる。
- ・JR東海に対する各委員の質問は事前に取りまとめ、要対策土分は精査の上JR東海に回答を求める。